

学校と家庭をむすぶ 練馬区立石神井台小学校

石台だより

〒177-0045 練馬区石神井台8-6-33 TEL3928-7124



平成27年7月17日 No.462

「1学期前半、ありがとうございました」

校長 海老原 誠

いよいよ夏休みが直前に迫ってきました。石台小の子どもたちが、大きな事故に遭うこともなく元気に過ごせたことが何よりです。628名の子どもたちが、安全に楽しく学校生活を送れたのも、保護者・地域の皆様の支えがあったからこそだと思います。ありがとうございました。

私は、何度となく「地域の会合」や「父母と教職員の会」等に参加する機会がありました。そこに参加している方の共通している考え方（信条とでも言いましょうか）は、「地域の子どものために、石台小の子どものために！」ということです。保護者・地域の皆さんが子どもの頃に経験したことを今の子どもたちにも経験させてあげ、心豊かになってもらいたい、楽しんでもらいたい。と同時に、地域の願いを感じ、将来は、伝える側に育ってほしい。そんな気持ちがヒシヒシと伝わってきます。

夏休み中には、「少年野球・少女ソフトボール大会」、石神井特別支援学校での「夏まつり」、「ラジオ体操」、「秩父キャンプ」、白ふじ幼稚園をお借りしての「盆踊り大会」など、石神井台の地域では行事が目白押しです。7月の学校だよりでも触れましたが、是非、本校の子どもたちには、これらの地域行事に参加し、地域の皆様や仲間との交流を深めてくれることを願っています。

夏休みの水泳指導が始まります。私が子どもの頃、通っていた小学校にはプールがありませんでした。20分くらい歩いて隣の学校へ行き、お借りしていました。中学校には入学時からプールがありました。もちろん、高校、大学には50メートルのプールがありました。大学では5月から「水泳授業」があり、寒さに弱い私はブルブル震えて参加していたことを覚えています。

さて、そのプール、水泳ですが、大人になっても十分に泳げるようになります。とは言え、やはり学習の適時性から考えると、小学生の頃の方が泳ぎを覚えやすいと言えます。その他の運動でも、体の軽い低学年の内に鉄棒でぶら下がったり、調整力の発達する中学年のころに一輪車に取り組んだりすることがよいと言えます。

視点を変えると、何でも小さい頃から始めれば良いということではありません。筋力を高める時期は、ある程度骨格が発達した小学校高学年から中学生以上とされています。

子どもたちが成長していく過程を見ていると、興味を持つ対象が変化していくことにも気付きます。小さい頃、動く物に向いていた興味が、形や色彩に向いたり、リズムに向いていた興味が、メロディーに向いたりします。これら、興味・関心も含め、一人一人の子どもたちが、今、最も学習するのに適したものを見極め、用意していくことが大人たちの役割と言えます。

いくつになっても、新しいこと、できないことに挑戦する気持ちは大切です。同時に、子どもたちには学習しやすいタイミングで経験を積ませたいと、プールからの歓声を聞くたびに強く感じています。

夏休みの水泳指導には、多くの子どもたちに参加してほしいものです。